

## 景観アドバイザーからのご意見



### 石川 初氏

慶應義塾大学 環境情報学部 教授  
調布市景観審議会委員  
調布市景観アドバイザー

○ 特性が似ている地域であるが、実際に街を歩いたことでいろいろと発見できたことがよかったと思う。

第二小学校区	鉄道敷地上部では鉄道かた人へと流れるスピードの変化が新たな沿道景観を生み出す可能性のある地域
富士見台小学校区	中心市街地から多摩川周辺の住宅地と地域のなかで地形と土地利用が関連していることがわかる地域
染地小学校区	多摩川住宅をはじめ歴史や経緯が異なるまちづくりが進んだことで南北で景観の違いを感じ取れる地域
杉森小学校区	歩くことで発見できた水や緑地などの資源が繋がっていることで風景がつけられていると感じた地域
布田小学校区	住宅地、崖線、多摩川などが東西に層として広がるなか、南北に歩くことでその特性をみることができる地域

○ 景観はエリア（面）で捉えることも多いが、調布は河川や崖線、鉄道、街道（道路）などがエリアを横断している線的な要素も大きな特徴であると再認識した。エリアだけでなく横断している要素もあわせて考えていくことも大事な一つの視点であると思う。

## 調布市の景観まちづくりに関するパネル展示会を開催しました！

調布市では景観計画の見直しに向けた検討を進めるなか、現在の状況を市民の皆さんに周知するため、現行の景観計画をはじめ、市民ニーズ（アンケート結果）、参加者を中心に活動を続けている市民検討会の活動状況などを報告するためのパネル展示会を調布市役所2階市民ロビーにて開催（令和7年1月29日～2月7日）しました。



展示会の開催風景

調布市では今後も景観まちづくりに関する周知活動を進めていきますので、機会のある方は是非ご参加ください。



調布市景観計画



アンケート結果



市民検討会の活動成果



市内の模型

※パネル展示会は終了しています。

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせしていきます。

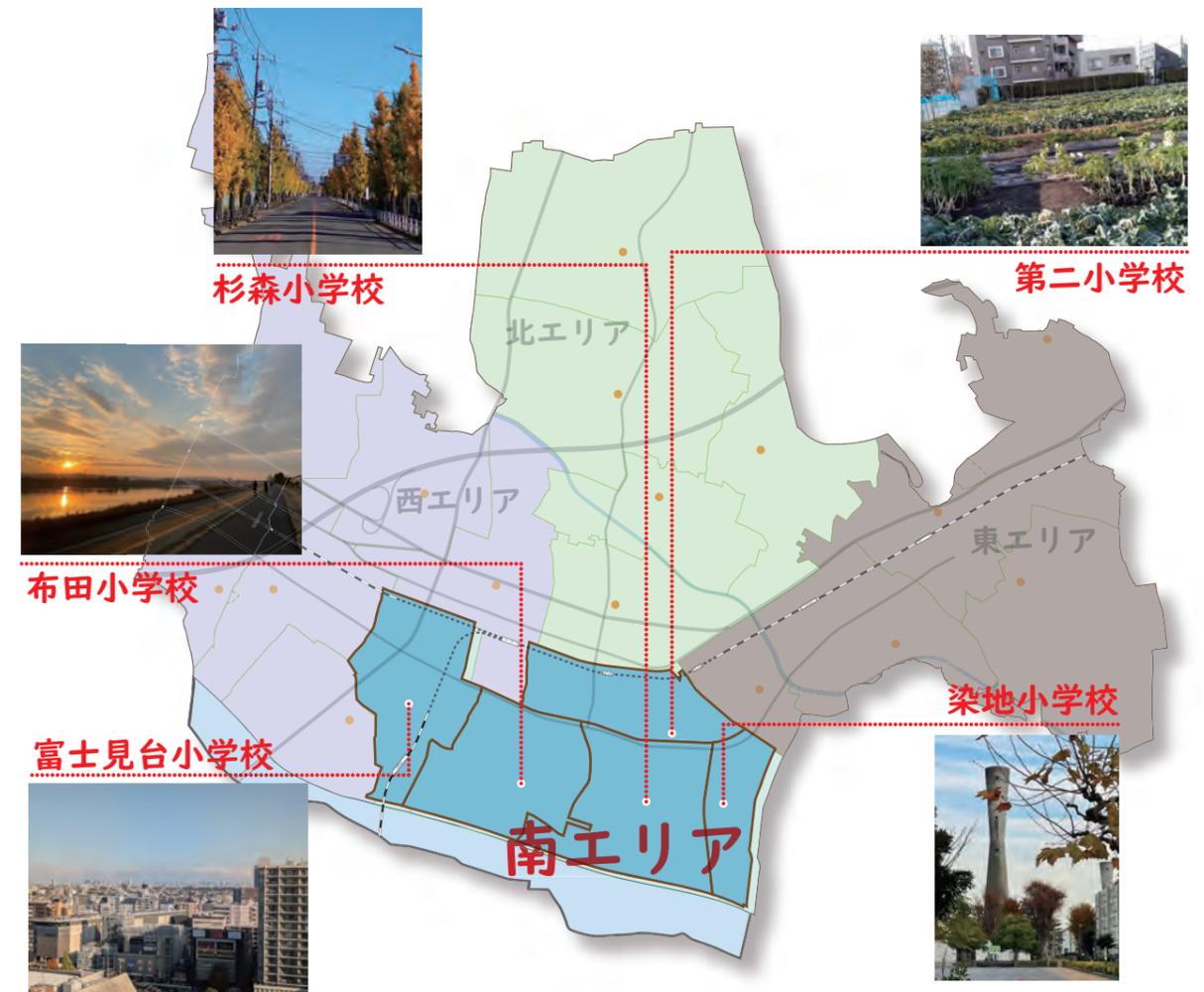
発行：調布市都市整備部 まちづくり推進課 開発景観係

Tel：042-481-7442 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@city.chofu.lg.jp

# ちょうふ景観だより

第66号 | 令和7年  
3月10日発行

## 「協働による身近な景観まちづくり」について③ 小学校区／南エリア



### 各小学校区の景観まちづくりについて話しあいました

市民検討会では、協働による身近な景観まちづくりの検討として、南エリアにある5つの小学校区を対象に、検討会メンバーが実際にまちを歩き、魅力ある景観を発見し、それらをもとに小学校区別に景観まちづくりに向けた意見交換を行いました。また、意見交換にあたっては、慶應義塾大学石川研究室にも参加していただきました。

本号では、南エリアの検討成果の一部を紹介します。

### 協働による身近な景観まちづくりとは…

調布市景観計画では、市全体を対象とした方向性に加えて、より身近な地域として市内にある20の小学校の校区を対象として、特性や景観資源、方針（案）などを示し、市民と協働により行う身近な景観まちづくりを目指しています。

※詳細については調布市景観計画11章参照

検討テーマ「協働による身近な景観まちづくり」について考えよう！

vol.3：小学校区 - 北エリア編

第3回は、調布市の北側に位置する5つの小学校区を対象に協働の景観まちづくりについて意見交換を行いました。

本号では、検討会の皆さんが発見してきた魅力や今後の景観まちづくりに向けた意見等を小学校区ごとに整理し、一部をご紹介します。



検討会のみなさんが発見してきた魅力ある風景の写真などをもとにグループワークを行い、資源マップや検討成果をまとめ、小学校区別に検討会メンバーが発表しました。



小学校区 - 北エリア



富士見台小学校区の景観

発見した魅力的な景観



農（旧）と電車（新）を体感できる風景  
子どもの声が響く新しくなったタコ公園



陸橋・京王線・多摩川を望める眺望  
市街地では珍しい火の見櫓と半鐘

景観まちづくりへの意見等

- 北側の中心市街地と南側の低層住宅地の二面性を持つエリアの特性を活かしていくことが必要になる。
- 映画関連施設が立地し、今後は駅周辺が変化することを踏まえたまちづくりが必要になる。
- 貴重な資源である多摩川とその周辺の風景（自然、水辺、陸橋、人の賑わいなど）は維持していくことが必要である。

布田小学校区の景観

発見した魅力的な景観



崖線のある農地と住宅地の風景  
布田崖線沿いの歴史を感じる樹木



貴重な文化財に触れる場所（下布田遺跡）  
多摩川土手の日常の風景

景観まちづくりへの意見等

- 南方向に開けた多摩川の雄大な景観を維持していく。
- 布田崖線とその周辺の緑の維持とともに下布田遺跡周辺からの富士山への眺望を守る。
- 関連施設の立地特性を活かして市のコンセプトの一つでもある「映画の街」をPRしていく。
- 市民の憩いでもある桜堤通りの桜や緑を保全する。

杉森小学校区の景観

発見した魅力的な景観



満開時は桜のトンネルとなる桜堤通り  
地域の憩いの場所であるせせらぎの散歩道



団地沿いの直線的で見通しの良い道路と街路樹  
農地は挟まれた多摩川に続く道

景観まちづくりへの意見等

- 多摩川と野生生物、せせらぎの道、布田崖線、団地の緑、給水塔など、「緑」と「水」がつながることで地域の景観を形成している関係性を今後も維持していく。
- 低層住宅地の街並みが中心であることで感じる空の広がり、多摩川方面への素晴らしい眺望のある風景を維持していく。

染地小学校区の景観

発見した魅力的な景観



今も残る貴重な蜂の巣校舎  
新たな街並みに変化を始めた多摩川住宅



多摩川と住宅地の境界となる場所であり景観の変わる場所  
現役で活躍する農の風景

景観まちづくりへの意見等

- 地域の顔である多摩川住宅の更新とその周辺の街並みづくりが大事になる。（団地の全体と部分との関係性など）
- 北から南へ住宅地、団地、多摩川と景観が変化していく地域特性を活かしていく。
- 変化していくものと活かしていくものの関係性が重要である。

第二小学校区の景観

発見した魅力的な景観



住宅地の一角に残る農のある風景  
地域を守る身近な神社



目隠しと楽しさを兼ねた植栽帯  
鉄道の地下化によってできた新たな遊歩道

景観まちづくりへの意見等

- 宅地化が進むなかでも市街地の貴重な「農」の風景を維持する。
- 変化するものと維持するものが偏りすぎず、共存することで素敵な街並みを形成して欲しい。
- 鉄道敷地上部とその沿道については、賑わいの場となるような演出を心がける。
- 高層建物は両隣の駅に任せて、貴重な空への広がりを守っていく。